

奈良県スポーツイノベーション推進本部 第1回検討部会 議事要旨

日 時：令和7年2月12日（水）13：30～15：00
会 場：奈良県庁 情報管理棟 西第1会議室
出席委員数：5名

（1）開会

- 1) 挨拶：和田 奈良県スポーツイノベーション推進本部検討部会長
（(公財)奈良県スポーツ協会事務局長）
- 2) 委員紹介

（3）第1回検討部会 （議長 和田部会長）

- 1) 第1号議案・・・資料P4～9，参考資料P10～16
◆「第1回本部委員会」において、今後の事業推進の骨子となる「奈良県スポーツイノベーション推進計画」を検討するよう本部長から付託があったため、計画素案について説明。

（説明概要）

- 本計画については、「奈良県スポーツイノベーション推進本部」の設置趣旨と同義であり、『令和13年度に奈良県で開催する国民スポーツ大会を契機として、その先を見据えた持続性のある競技力の底上げを推進することを目標に「第2期奈良県スポーツ推進計画」も踏まえながら、その具体化を目指すためのロードマップ』と定義。
- 「計画期間」については、直近の指標として、奈良国スポ大会開催を見据えることとし、その開催年度までを1つの区切り。その際、R6年度～R7年度までの2ヶ年を育成期、R10年度までの3ヶ年を充実期、R13年度までの3ヶ年を躍進期、それ以降を継続期の4つに区分。概ね3ヶ年スパンで取組内容をステップアップ。
- 「取組方針」については、「体制強化」、「選手の発掘育成と指導体制の確立」、「環境整備」の3つに分類。具体的な各取組は「ロードマップ」内で図示化。
- 現在進めている取組および来年度以降に開始する取組は、各方針に即して「ロードマップ」のとおりで実施。
- 本計画は、今回の決定で固定化するものではなく、年次が進むに合わせて、取組内容の精査や点検等を実施して適宜修正。

(主な意見等)

1. 素案P8「選手の発掘育成／指導体制の確立」のうち、(5)「選手強化体制の充実」、「②優秀な指導者等の招請支援等」【中学校・高等学校運動部活動の指導者強化】について、「中学校」を文言に含めしまうと、奈良県では令和8年度から中学部活動の地域展開とする流れの中で、違和感があるように捉えられるのではないか。(新子委員)

→ 中学部活動の捉え方に時代の変化があるため、部活動に限定せず、幅広く捉えることとして「ジュニア世代向けの指導者」と文言修正する。(事務局)

2. 現実的には、全競技を強化することは難しいと思われるが、県として絶対に負けないという競技を見つけるためにも、競技団体の評価の仕組みを検討すべきではないか。(松下委員)

→ 各競技団体で、具体的なアクションプランを設定のうえ、「次は何を目指す、何点取る」を考えてもらう。その上で、モチベーションをより上げていくため、次の段階として更なる設定を検討したい。(事務局)

3. DX化の推進を打ち出すべきではないか。(松下委員)

→ 計画上では「環境整備」の項目に検討部会や勉強会を駆使しての検討を設定しているため、DX化の検討も検討項目に設定し、各競技団体での現状把握、デジタル化の必要度等を含めた調査分析を行い、具体的な事業化のイメージができた段階でロードマップ上、個別事業に具体化させる。(事務局)

4. 素案P5「体制強化」のうち、(1)「体制の強化・充実」、「①奈良県スポーツイノベーション推進本部の運営・産学官連携一体支援」【産学官連携・協働の推進】に関して、大学は専門知識以外にも施設利用での協力が可能な場合も多いので、その点を追記してはどうか。(岩山委員)

→ ご提案を受けて該当箇所に「施設」を追記する。(事務局)

5. 医科学プログラムの活用検討も進めていくべきではないか。(松下委員)

→ ご意見として承る。関係団体等と調整・連携して進めていきたい。(事務局)

(結論)

- 第1号議案を「承認」とし、次回の本部委員会にお諮りする。
なお、今回出された意見の資料への反映等は、事務局に一任する。

以 上